

名古屋市立名東高等学校「三つの方針（スクール・ポリシー）」

普通科・国際英語科共通

1 生徒育成方針

「名東版E S D（持続可能な開発のための教育）」の基本理念の下、以下に示す資質・能力の涵養を図る。

- 社会とのつながりを意識し、よりよい世界を構想する力（思考する力）
- 自ら課題を設定し、調査研究を行い、探究する力（探究する力）
- 自分の考えをまとめて、他の人にわかりやすく表現する力（伝える力）
- さまざまな人と協力して議論しながら、一緒に問題解決する力（解決する力）

2 教育課程編成・実施方針

教科科目の学びを基盤に、学校行事や諸活動を含む全ての取り組みを通して、必要な資質・能力を総合的有機的に醸成する。

- 「主体的・対話的で深い学び」を通して、学力の三要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性）を育む。
- 「名東版E S D」において、人権・共生・平和・開発・自然環境・異文化理解をテーマとする課題に取り組み、誰もが豊かで幸せに暮らせる社会をつくるために自ら学び、考え、行動する人を育成する。
- 本校独自のプログラム「未来への探究」（総合的な探究の時間）や「ワールドスタディーズ」（国際英語科学校設定教科）の学びを中心として、自分のキャリアデザインと持続可能な社会について考察し、未来の社会を担う人を育成する。

3 生徒募集方針

- 社会に存在する多様な価値観を理解し尊重するとともに、将来の目標や夢に向かって自ら道を切り拓こうとする意欲の強い人
- 教科科目の学習を始めとして諸活動に真摯に向き合い、それぞれの目標の達成に向けて懸命に取り組もうとする人